



# 青南だより

令和元年9月号

港区立青南幼稚園  
園長 新山 裕之

## <心も体も柔らかく…>

夏休み、私が一番印象に残った研修は、体をほぐすことがカウンセリング効果を高めるという体験でした。心と体が深くつながっていることを改めて実感しました。また、幼児期には身近な保護者や教師などとの信頼関係（愛着形成という言い方もあります）を築くことが最も大事であることを複数の研修で学びました。困ったときに支え合える人々に囲まれていることを子どもも大人も実感できることが大事です。そのためには目の前の出来事に前向きに対応できる心の柔らかさが大切ですね。

## <親子で体を動かす体験を>

7日(土)の幼稚園公開では、昨年に続いて親子で体を動かすことを楽しむ体験ができるよう計画中です。夏休みは親子で普段できない体験をした方も多かったでしょう。手をつないで散歩する、一緒に料理する、一緒に笑う…。幼い頃の感動の共有体験が、大人になったときの心の支えにきっとなるはず。子育ては人間関係ですから、双方向のやり取りが大切です。前・青山中学校長の福井先生による思春期と幼児教育の関連についての講演会もあります。どうぞ、お楽しみに。

## <足育の推進と普及>

4, 5 歳児には、5 月に青南幼稚園は足育研究所で、みんなは「子ども研究員」だよと話しました。この夏、私は大人研究員として様々な機会に足育の重要性をお伝えしてきました。足にピッタリ合った靴を、手を使って丁寧に履くことが基本です。合言葉は「ベリベリ、トントン、キュー、ピタッ!」です。3日にはJESの方々にお越しいただき、足の再計測やフットプリンターによる足型測定、フィッティングを行います。必要に応じて、貸与靴の交換などもお願いしています。



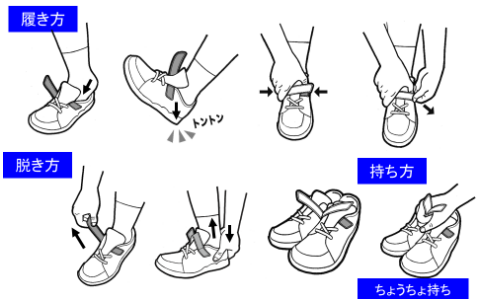
わくわく池にはシオカラトンボが来ています



裏庭のフェンスも土台から工事中です



猛暑の中、屋上の防水工事が進みました



手を使って丁寧に、正しい履き方を!



ブドウは今年もたくさん実っています

### ・・・長月(ながつき)・・・

白露(8日) … そろそろ秋の空気に入れ替わります …

秋分(23日) … 暑さ寒さも彼岸まで、といいますが …

この夏は梅雨が長引き、逆に8月は連日の猛暑続きでした。何が幸いしたのかは分かりませんが、今年もブドウやザクロが立派に実っています。熟してきたらおいしくいただけるでしょう。

朝晩は少しずつ涼しい風が吹き始め、草むらから鳴く虫の声(羽をこすり合わせて音を出しているのですが)が聞こえるようになりました。この虫の音で季節の移り変わりを感ぜられる日本人の感性の素晴らしさ…、大切にしたいですね。

青南の  
二十四節気